

君ならどうする!?  
走って逃げよう!  
助けを呼ぼう!

～学ぼう! BO-KEN あいち



体験もできる!

# 防犯学習動画

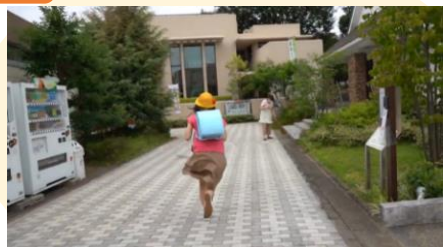
## 本編 (10分30秒)

～体験型防犯教室の内容を、失敗例と成功例を交えながら学習できます～

### 1 あやしい人ってどんな人?



### 2 走って逃げよう!



### 3 大声で助けを呼ぼう!



### 4 防犯ブザーを鳴らそう!



### 5 ジタバタあばれよう!



映像を見て、ポイントを  
しっかり覚えよう!

## シミュレーション編 (4分30秒)

～子供目線の映像で、不審者からの声かけ等の状況を疑似体験できます～



自分ならどうするかな・・・?



本編で学んだことを、実際にやってみよう!

愛知県警公式YouTubeで視聴できます



本編

シミュレーション編



裏面の学習ポイントを参考  
にして、子供の安全教育に  
ご活用ください!

# 本編の学習ポイント



## ①あやしい人ってどんな人？

- ・子供がイメージしやすい「帽子・マスク・サングラス」姿で子供を狙う不審者は、ほとんどいません。
- ・「見た目」ではなく「動き」に注意しましょう。

## ②走って逃げよう！

- ・「おかしいな」「こわいな」と思ったときには、すぐに走って逃げて「こども110番の家」などに助けを求めましょう。
- ・断ったり、無視した後に、その場にとどまることも危険です。

## ③大声で助けを呼ぼう！

- ・助けを呼ぶ時は、力一杯の大声を出しましょう。
- ・大声を出すと、「相手が驚いて逃げる」「気付いた人が助けてくれる」等の効果があります。

## ④防犯ブザーを鳴らそう！

- ・防犯ブザーは、簡単に手が届くところにつけましょう。
- ・電池が切れていないか、定期的な点検も忘れずに。

## ⑤ジタバタあばれよう！

- ・もしも身体をつかまれてしまったときは、全力でジタバタあばれて抵抗しよう！

## シミュレーション編の活用方法

不審者から声をかけられたり、腕をつかまれたりする状況を子供目線の映像で疑似体験することができます。（全5パターン）

- ①しつこく話しかける不審者
- ②後ろからつきまとう不審者
- ③声をかけた後、後ろから抱きつく不審者
- ④後ろから口を塞ぐ不審者
- ⑤腕をつかみ、連れて行こうとする不審者

防犯教室で使用する際、ポイントとなる箇所（映像がモノクロになる箇所）で一時停止させ、視聴する子供に自分ならどうするか問いかけて考えさせたり、スペースがあれば、テロップに表示される行動を促し、実際に身体を動かして体験学習をすることができます。